

# サービス評価結果報告書

中津市福祉部介護長寿課 あて

提出日:令和 7 年 4 月 16 日

サービス種別 (該当に○)	定期巡回・随時対応型訪問介護看護			
	○	小規模多機能型居宅介護	○	介護予防小規模多機能型居宅介護
	看護小規模多機能型居宅介護			
事業所番号	4490300102			
事業所名	小規模多機能の家 水車			
法人名 代表者名	NPO法人 福祉の里なかつ応援隊 武下 英二			
事業所所在地	(〒879-0111) 中津市大字伊藤田 1064 番地 1			
担当者名	井上 喜久子			
連絡先	電話	0979-32-0337	FAX	0979-32-0337
	mail	qqkk6bk9k@angel.ocn.ne.jp		

以下のとおり、資料を添えて提出します。

運営推進会議等での評価 実施日	令和 7 年 3 月 31 日
-----------------	-----------------

「※要提出」の書類を添付します。

定期巡回・随時対応型訪問介護看護	
<input type="checkbox"/> ※要提出	・(別紙1) 自己評価・外部評価 評価表…………… 公表

小規模多機能型居宅介護(介護予防含む)	
	・(別紙2-1) スタッフ個別評価…………… 事業所にて保管
<input type="checkbox"/> ※要提出	・(別紙2-2) 事業所自己評価…………… 公表
	・(別紙2-3) 地域からの評価…………… 事業所にて保管
<input type="checkbox"/> ※要提出	・(別紙2-4) サービス評価総括表…………… 公表

看護小規模多機能型居宅介護	
	・(別紙3-1) 従業者等自己評価…………… 事業所にて保管
	・(別紙3-2) 事業所自己評価…………… 事業所にて保管
<input type="checkbox"/> ※要提出	・(別紙3-3) 運営推進会議における評価…………… 公表

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年3月31日(18:30 ~20:30)
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	長谷川 井上 近藤 松村 末吉 恵良 岩永 長岡 山崎 合林 萩 小原

## ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	2人	8人	2人	0人	12人

前回の改善計画	利用者の聞き取りの情報やその都度、得られた情報は確実に回覧、情報を共有して回覧印を押す。疑問、質問があればリーダーや管理者に確認する。家族からの情報は確実にノートやミーティングで申し送る。
前回の改善計画に対する取組み結果	各スタッフとは、毎朝のミーティングやケース会議で情報共有を図っているつもりだが、十分に伝達できていないこと、正確に伝達できない事がある。

## ◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	5	5	2	0	12
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	10	1	0	12
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	5	7	0	0	12
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	5	6	1	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること サービスについてはご本人、ご家族と話し合い必要な支援ができています。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ご本人とご家族との関係性やご家族の思いや状況をアセスメントなどで回覧するようにはしているが十分に伝える事が出来てないと感じることが多い スタッフ全員が集まる機会が少ないので、ご本人の情報を十分に伝えることができてないと感じる事が多い。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ご本人とご家族の情報を今よりも分かりやすくアセスメント用紙や計画書に記載し共有する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年3月31日(18:30 ~20:30)
2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)	メンバー	長谷川 井上 近藤 小原 松村 末吉 恵良 岩永 長岡 山崎 合林 萩

## ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	6人	4人	1人	12人

前回の改善計画	担当職員がケアプランと個別計画書の連動性を自分で確認して毎月モニタリングを実施、結果をシートに残す。担当者会議には、担当の職員がなるべく出席し本人との信頼関係を築いていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	担当職員がケアプランと個別計画書を確認して毎月モニタリングを実施した。結果をシートに残すことができなかった。

## ◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	4	4	2	1	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	6	3	2	0	12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	7	2	2	0	12
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	6	5	0	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ご本人との日常の会話やアセスメントする中でご自分の思いを確認するようにしている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 日々の実践は出来てないと思うことが多い。それぞれの思いが違いうまくスタッフに伝わらない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
個別計画をわかりやすく作成し、スタッフと内容を共有していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年3月31日(18:30 ~20:30)
3. 日常生活の支援	メンバー	長谷川 井上 近藤 小原 松村 末吉 恵良 岩永 長岡 山崎 合林 萩

## ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	7人	4人	1人	0人	12人

前回の改善計画	本人との日々の関わりや家族との交流で、自宅での暮らし方を情報収集して、把握して行く。又利用者の入浴支援や個別対応時の会話の中でも本人の思いをくみ取り他職員へ情報提供する。
前回の改善計画に対する取組み結果	雰囲気や表情の捉え方については、日々のミーティングで日々の事例に基づき、気づきの機会を増やすことができた。

## ◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	7	3	2	0	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	8	2	2	0	12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	6	4	2	0	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	8	0	0	12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	9	1	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ご本人の以前の暮らし方はある程度把握している。ご本人の体調の変化や思いが変わった時は情報共有して対応している。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 把握できていないスタッフもあり配慮が出来ていない場合がある。予測ができていないスタッフもおり配慮ができていないことがある。情報共有がうまくいかない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
---------------	----------

個別プランを見直し、担当の係を決める。職員全員の共有を行う。主任、副主任に責任をもってまとめてもらう。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年3月31日(18:30 ~20:30)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	長谷川 井上 近藤 小原 松村 末吉 恵良 岩永 長岡 山崎 合林 萩

## ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	6人	1人	0人	12人

前回の改善計画	スタッフ会議の中で、勉強会を実施して行く又担当している利用者が活用している社会資源がどのようなものか確認する。
前回の改善計画に対する取組み結果	社会資源については、常時把握はできたが、今年度は、コロナウイルス感染症拡大防止の為 様々は催し物が中止となり社会資源を活用する事ができなかった。

## ◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	3	8	1	0	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	6	6	0	0	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	4	7	1	0	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	3	6	3	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ご本人家族介護者との関係性を理解するように気を付けており、ある程度は理解できている。かかわる中で少しずつ人間関係などの理解が来ている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 生活歴の把握も大まかにできているが、より深い情報を得て行く必要がある。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 生活歴を把握する。自宅での過ごし方にもっと目を向け、そこで何ができるか検討していく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年3月31日(18:30 ~20:30)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	長谷川 井上 近藤 小原 松村 末吉 恵良 岩永 長岡 山崎 合林 萩

## ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	5人	6人	1人	0人	12人

前回の改善計画	家族や本人から変更の要請があった場合には、申し送りノートに記入、朝、夕のミーティングで再確認を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果	ケアマネジャーが中心となって、変更の要請があった場合は柔軟に対応できた。ミーティングやスタッフ会議で情報共有に努めた。

## ◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	4	7	1	0	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	7	2	2	0	12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	6	5	0	0	12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	5	1	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 急な変更も含め、利用者様や家族様の希望や状況に合わせて「通い」「訪問」「宿泊」を柔軟に変化させて対応している。一部であるが近隣住民の方や関係機関などと連携しながらサポートする体制が出来ている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ご本人の意向とご家族様の意向が異なっていることがあり調整が難しい。その結果、ご家族のご意向に沿うこともあり対応に悩むこともある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 家族やご本人からの要請があれば柔軟に対応する。職員間のコミュニケーションを密に図って対応していく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 3 月 31 日 (18 : 30 ~ 20 : 30 )
6. 連携・協働	メンバー	長谷川 井上 近藤 松村 末吉 恵良 合林 萩 岩永 長岡 山崎 小原

## ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	7 人	0 人	0 人	12 人

前回の改善計画	中津市内の小規模多機能連絡会の交流を図る。他施設の運営推進会議開催時に、職員を 1 名参加させる。地域の団体の活動やイベントについて把握し内容を確認する。担当職員が担当者会議に出席できるように今後も調整して行く。
前回の改善計画に対する取組み結果	小規模多機能の事業所との連絡会、運営推進会議は定期的にできるようになった。

## ◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	6	5	1	0	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	4	4	4	0	12
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	4	5	3	0	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	4	7	1	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 感染症と共存しながら、日本舞踊やコーラスなどを受け入れることが出来た。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 関係機関との会議については、管理者及びケアマネが中心になるため、一般スタッフの参加までには至っていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 少しずつ、ボランティアなどを受け入れ、地域の行事に参加していきたい。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年3月31日(18:30 ~20:30)
7. 運営	メンバー	長谷川 井上 近藤 松村 小原 末吉 恵良 岩永 長岡 山崎 合林 萩

## ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	6人	4人	2人	0人	12人

前回の改善計画	スタッフ会議やミーティング等で運営推進会議の基本的な知識を勉強、会議の伝達や地域からの意見を随時報告し、運営推進会議では施設内での取組みを報告して行く。
前回の改善計画に対する取組み結果	スタッフ会議やミーティングで運営推進会議の内容等を伝え、基本的な部分の理解に努めた。外部評価に向けては自己評価を各職員へ用紙を配布して全員で取り組んだ。

## ◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか?	7	5	0	0	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	9	1	0	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4	6	2	0	12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	3	9	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 月1回の会議でスタッフそれぞれに意見交換はできている。参加できないスタッフにも事前に意見を述べるようにしている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地元住民の方のご意見や苦情を取り入れる機会が少なく関わりも薄い。運営推進会議へのスタッフ参加も人員不足から実現できていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 状況を見ながら運営推進会議に現場スタッフも参加していく。ご利用者様やご家族様からのご意見や苦情、事故等の情報共有と方針決定をして行く。運営推進会議に現場スタッフも参加していく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年3月31日(18:30 ~20:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 長谷川 井上 松村 小原 末吉 恵良 岩永 長岡 山崎 合林 萩

## ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	2人	8人	0人	12人

前回の改善計画	勉強会や研修会にできる限り参加して目標をもって業務にあたる。研修会に参加後、伝達講習を行い多職種協働と共有し事業所全体のスキルアップを図る。
前回の改善計画に対する取組み結果	勉強会は毎月実施できている。外部講習には、一部スタッフが参加できた。

## ◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	4	1	7	0	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	2	8	0	12
③	地域連絡会に参加していますか	2	6	4	0	
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	8	2	2	0	

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
月に一度の会議の際の勉強会はしっかりできている。又分からない所はお互いに確認できる環境や研修参加しやすい環境も整っている。事故やヒヤリハットなどリスクマネジメントについては、毎月のスタッフ会議にて情報共有、方針決定している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
スタッフ会議はほとんどの職員が参加できているが、外部の講習はほとんどの職員がいけない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
月1回の勉強会で、学んだ事はスタッフ間で情報共有を図り、介護現場で活用していく。スタッフについては可能な限り最低でも年1回目安に外部講習に参加していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年3月31日(18:30 ~20:30)
9. 人権・プライバシー	メンバー	長谷川 井上 松村 小原 末吉 惠良 岩永 長岡 山崎 合林 萩

## ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7人	3人	2人	0人	12人

前回の改善計画	拘束、虐待、グレーゾーンについて引き続き研修やアンケート調査を実施し、繰り返し、学習して意識を高めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	成年後見制度については今後も勉強会を続ける。虐待については定期的に勉強会を行う

## ◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	12	0	0	0	12
②	虐待は行われていない	9	3	0	0	12
③	プライバシーが守られている	8	4	0	0	12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	6	4	2	0	12
⑤	適正な個人情報の管理ができています	9	3	0	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
--------	------------------------------

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
成年後見制度については、該当者がいない為、適用者はいない。利用者に対する言葉使いが出来てない職員がいる。気が付いた職員はその人を注意する。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
成年後見制度については、今後も勉強会を続ける。スタッフ同士の会話の仕方に気をつける。好意をもった話しかけを心がける。	

## 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	特定営利活動法人 福祉の里なかつ応援隊	代表者	理事長 武下 英二	法人・ 事業所 の特徴	事業所敷地内に庭園があり四季折々の野菜や花が咲きます。通い、訪問、宿泊のサービスを組み合わせ、利用者の今までの暮らしに合わせた支援をさせていただきます。自宅に居ると同じような環境で過ごして頂いています。
事業所名	小規模多機能の家 水車	管理者	井上喜久子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	4人	2人	2人	1人	人	4人	人	15人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	利用者や家族に対して、不安や希望を聞き取りし、より良い信頼関係を築く。明るく笑顔の絶えない施設を目指していく。	送迎時や訪問時に家族と話す機会を持ち、自宅での様子や家族が困っている事等を伺う様に務めた。職員間の関係が良好で職場の雰囲気が良いように取り組んだ。	本人、家族の意見等具体的に聞くことができて良かった。職員間での情報共有に努めたが、不十分な点もあったので継続が必要と思う。	利用者と家族の意向を尊重し、本人と家族の支援も行っていく。その為に本人、家族の状況を常に職員と共有していく。職員間で対話し雰囲気が良い職場作りを目指す。
B. 事業所のしつらえ・環境	今後も感染対策を継続し、清潔を保ち、環境整備を行う。	利用者、職員とも手洗い、うがい、マスク使用、検温等を継続、感染拡大予防に取り組んだ。施設内は消毒を実施し、清潔に務めた。	感染はあったが拡大は予防ができた。日頃掃除ができない箇所での片付けや掃除を行い清潔にできた。花を飾り癒しの空間を作った。	引き続き感染対策を行う。整理整頓や片付け、消毒を行い清潔で気持ちよく過ごせて、効率が良い施設にする。花や装飾で癒しの空間を作る。
C. 事業所と地域のかかわり	コロナ感染状況を見つつ、地域行事や交流を開始する。	家族や地域の方が気軽に参加できる行事、ボランティアによる催し物を企画し、相談や問い合わせ時は顔の見える関係作りに務めた。地域の資源回収に協力した。	来設だけではなく、自治委員、民生児童委員、運営推進委員を訪問し、近所で困っている方がいないか聞き取りを行った。資源回収が継続できて良かった。	見学、ボランティア活動を柔軟に受け入れ地域の活動を進めていく。施設が介護相談の窓口であることを地域行事参加時に発信していく。資源回収を継続する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域行事に参加しながら情報提供、情報交換を行う機会を定着させていく。	事業所のサービスの柔軟性を生かして地域のイベントなどに利用者と共に参加し、地域で共に支え合う環境作りに努めた。	地域の方との交流や地域資源の活用が自分たちなりにできていたと思う。地域に出る事は容易ではないが活動を広める必要があると思う。	地域の行事に参加したり、地域の方に聞き取りを行う等により地域資源の情報を収集し、支援を施設だけで抱え込まない取り組みを行う。
E. 運営推進会議を活かした取組み	地域の一員として、施設が果たせる機能を運営推進会議の中で検討する。	地域の中で、心配な方や困っている人がいないか会議の中で確認した。困り事や事例があれば意見交換や検討を行った。	地域の高齢者の生活ニーズにも着目した行動が必要と思われるがどこまで具体的な話しをすればよいか戸惑う時がある。	引き続き、地域でのニーズを引き出していく。また、他施設の運営推進会議に参加する機会を作ったり、自施設の会議においても職員が交代で参加できる様にする。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>防災設備の徹底管理と防災計画に対して、安心して頂ける情報を関係者に発信して災害時、頼りにされる事業所を目指す。</p>	<p>自施設のみだが夜間防災訓練を行った。防災設備の管理や計画の確認を行った。</p>	<p>防災設備の管理や防災計画の確認は行ったが、十分とは言えず職員間で共有できていないこともあるのではないか？</p>	<p>地域と協働した取り組みが今後行えるように、防災コミュニティや地区での防災活動に積極的に参加する。自施設の防災対策の見直し、取り組みを強化する。</p>
----------------------------	--	---	---	--